

平成 23 年度 宮前区区民会議フォーラム 進行について (案)

- 1 日時 平成 24 年 3 月 24 日(土) 午後 1 時 30 分から 4 時 10 分
- 2 場所 宮前区役所大会議室
- 3 目的
 - 第 3 期宮前区区民会議の活動内容を知ってもらう
 - 宮前区に目を向け、コミュニティづくりにつなげる方法を考える
- 4 内容
 - アトラクション 落語 15 分程度
 - 区民会議からの報告 40 分程度
 - 事例紹介とディスカッション 85 分程度

【内容】

- ①アトラクション・落語 「古典落語と長屋の暮らし」 喜楽亭笑吉さん
- ②区民会議からの報告
 - ・区民会議の仕組みの説明と第 3 期区民会議提言の報告を行う
 - ・みやまえ情報サポーターズ養成講座への参加を呼びかけ
- ③事例発表と意見交換 (テーマ) 宮前区を「住む」から「暮らす」まちへ
(コーディネーター) 佐谷和江氏

事例発表	<ul style="list-style-type: none"> ●「タウン紙記者が語る宮前区の魅力」 タウンニュース川崎支社支社長 原田一樹氏 (15分) <ul style="list-style-type: none"> ・日ごろの活動 (ネタ探し、取材など) ・日ごろの活動を通じて知った宮前区の魅力 ・読者に伝わる効果的な情報発信の秘訣 ●「東日本大震災の被災者への支援」 ひまわりサロン実行委員長 齊藤喜信氏 (25分) <ul style="list-style-type: none"> ・立ち上げから現在までの経過 ・被災者や支援者への呼びかけの方法 ・サロンを通じたコミュニティの状況、今後の展開
意見交換	<ul style="list-style-type: none"> ●メンバー 原田氏、齊藤氏、佐藤・活力づくり部会長、持田・地参知笑部会長 ●流れ ①各メンバーによる意見発表 (各 3~4 分程度) ⇒宮前区を「住む」から「暮らす」まちにするにはどうすればよいか (発表した事例や各メンバーの活動経験などを踏まえ、地域に愛着を持ち、地域コミュニティを活性化させる方法などについて意見を述べてください) ②メンバー間の意見交換 ③会場からの意見、質疑応答 ④コーディネーターによるまとめ

6 スケジュール

時間	内容	役割分担
12:40	集合・設営 リハーサル	全員
13:10	開場・受付	受付係
13:30	開会・区長あいさつ・流れの説明	区長 総合司会：恒川副委員長
13:35	アトラクション 落語 「古典落語と長屋の暮らし」	喜楽亭笑吉さん (社会人落語家)
13:50~ 14:30	区民会議の仕組み、提案の説明 プロジェクター等で 25 分程度 会場との質疑応答 15 分程度	報告：直本副委員長 佐藤部会長 持田部会長
【休憩 15 分】 ミニ「みやまえカルタ大会」 ティータイムで一息 カルタ人気投票 (閉会前後も受付)		ティータイム班 カルタ班
14:45~ 16:10	事例発表 35 分程度 意見交換 40 分程度 会場との質疑応答 10 分程度	コーディネーター 佐谷先生 事例発表者 原田さん、齊藤さん ※意見交換で佐藤部会長、持田部会長も加わる
16:10	委員長総括・閉会	山下委員長
16:45?	撤収・解散	全員

7 役割分担：区民会議委員全員で運営しよう！

	活力づくり	地参知笑
会場設営・撤収	全員でやりましょう！	
受付係	藤田委員	平井委員
総合司会	恒川副委員長	
ティータイム班	豊島委員	河井委員
カルタ班	直本委員	持田委員
	大村委員	久保委員